



心をひとつにみんなで音を響かせた音楽会！

11月13日(水)に「市小学校音楽会」が開催され、全校児童31名が参加しました。学校を11時過ぎに出発し、会場の「シーハットおおむら」で昼食を取りました。昼食場所として和室を借りていたため、昼食後、声出しをして、さくらホールに向かいました。演奏順にリハーサルを行い、大太鼓や小太鼓など楽器によってはこれまでの感覚と違う戸惑いもあったようですが、本番を迎えるまでの時間に再度リズムを取るなどしながら本番に臨みました。第1部の当日は、本校を含め5校が合唱・合奏を披露しました。本校は3番目の発表で、リハーサルを受けての修正を加えながら、一人一人が練習の成果を発揮することができました。全校31名の温かい雰囲気を感じられる東小らしい合唱奏「風になりたい」を会場いっぱい、響かせてくれました。学校到着後の子どもたちの感想に、緊張しながらもやり遂げた喜びを聞くことができました。先日の音楽会予行のときにお話したように、これまで取り組んできた成果を発揮することで、子どもたちに達成感や成就感を味わってほしい、努力したことは必ず自分の力になっていることを、実感として感じ取ってほしい、という思いを、それぞれ味わうことができたのではと思います。

ご参観いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



発見しよう 実感しよう 協力しよう 思い出いっぱい・・・！

子どもたちが楽しみに待っていた修学旅行が、11月14日(木)～15日(金)の2日間行われました。5・6年生12名、引率職員3名で、みんなに見送られながら学校を出発しました。

1日目、最初の目的地は「吉野ヶ里歴史公園」。班に分かれて、竪穴住居に入ったり、物見やぐらに上ったり、巨大な祭殿の中に入ったりして、弥生人の暮らしぶりを体感しました。

次に向かったのは「いのちのたび博物館」。館内に入り、目に飛び込んできたのが「セイスモサウルス」はじめ、数々の巨大恐竜の化石でした。また、動く恐竜のロボットは迫力があり、見応えがありました。その他、歴史ゾーンもあり、明治時代の農家の様子や昭和30年代の生活の様子を再現したコーナーもあり、当時の人々の暮らしぶりを感ずることができました。

そして、1日目の最後は、安川電機でした。産業用ロボットを作っている工場を見学しました。ロボットが人の代わりに、いろいろな作業をしていたり、人と一緒にロボットが働いていたりして、これからの社会はどうなるのだろう、とさまざまな種類のロボットがいろいろな場所で働いている未来の社会を想像しました。

2日目は関門橋を通り、下関に渡りました。関門橋・関門海峡を背に写真撮影後、関門トンネル人道を通って、門司に戻りました。

そして、最後は「門司港レトロ」へ。事前に班別に計画(見学場所や昼食場所)を立て、それを基に行動しました。とても良い天候で、31階の展望室から関門海峡を望む景色は身がすくみながらも絶景でした。約4時間の見学時間をどの班も、有効に使い、充実した活動となりました。

「未知の世界を見聞する」「集団生活のきまりや公衆道徳を体験する」「班活動を通して自主的な活動をする」など、テーマ通りの素晴らしい修学旅行でした。



- 4日(水) 人権集会・人権風船飛ばし
- 8日(日) ロザ・モタ杯ロードレース大会
- 10日(火) A.L.Tフェスティバル
- 11日(水) 校内持久走大会
- 12日(木) 市学力調査
- 16日(月) クラブ活動
- 24日(火) 冬休み前集会 (後期前半終了)